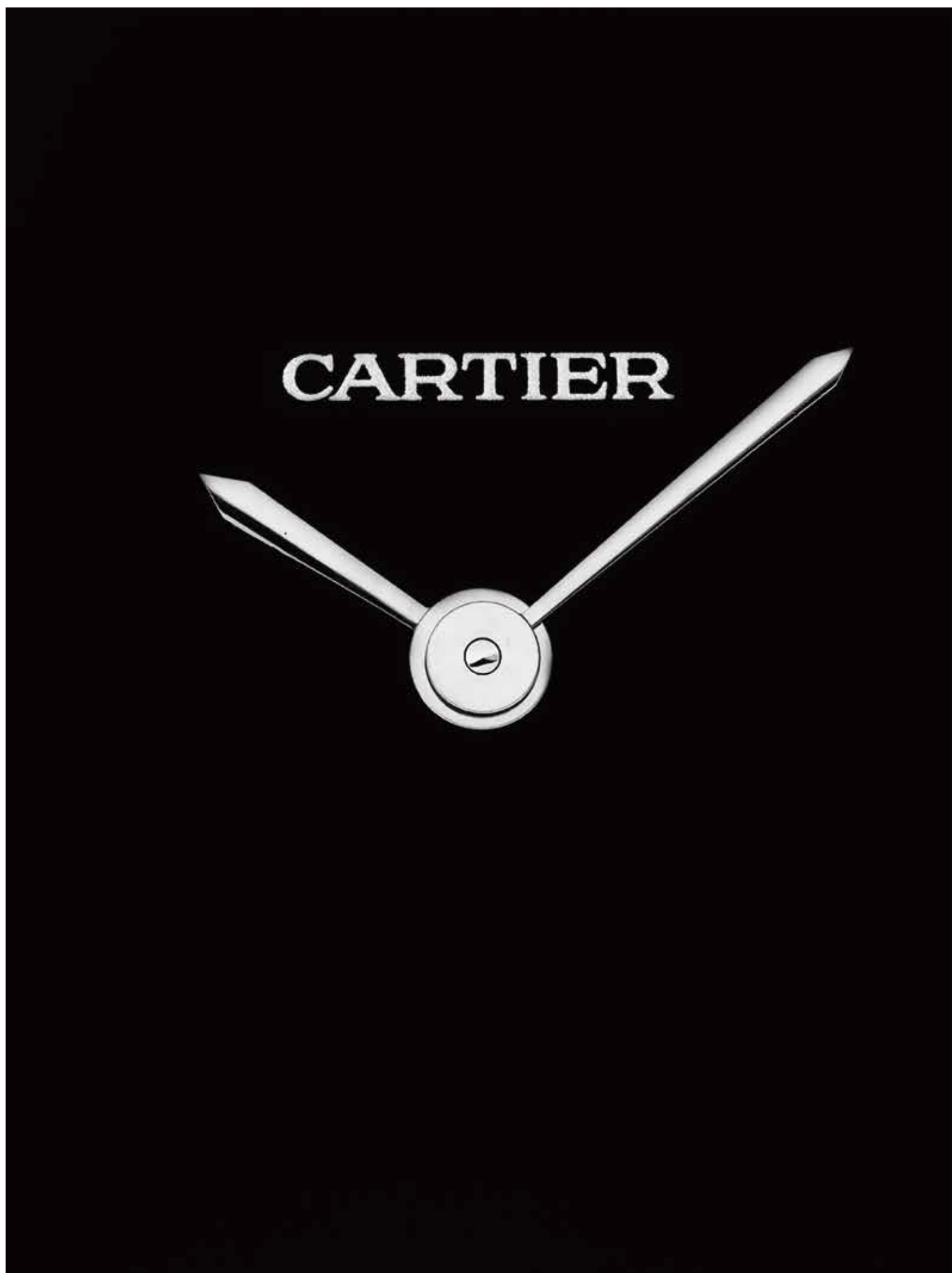


[ビズスタ]
BIZ Life
Style



Paul & Henriette © Cartier

“時”を語る、カルティエ



Paul & Henriette © Cartier

TANK

ジェンダーレスな魅力漂う ミニマルデザインの「タンク」

「Less is More」少ない方が豊かである。「ミニマルデザイン」の考え方を体現するよう、削き落とされたデザインが魅力の「タンク」。すべての色を包括するブラックカラーの文字盤には、インデックスもなく、時間束縛されず、自分らしさを謳歌するというメッセージが込められているのだ。最大の魅力はジェンダーレスな佇まい。サイズ感やケースの薄さでも性別を問わず似合うものだ。「タンク」の薄さも性別を問わず似合うものだ。「タンク」の薄さも性別を問わず似合うものだ。「タンク」の薄さも性別を問わず似合うものだ。



© Cartier

タンク ルイ カルティエ
29.5×22mm クォーツ
イエローゴールド
アリゲーターストラップ
1,372,800円(税込)



© Cartier

タンク ルイ カルティエ
33.7×25.5mm
手巻き (Cal. 1917 MC)
イエローゴールド
アリゲーターストラップ
1,742,400円(税込)



© Cartier

タンク マスト
33.7×25.5mm
クォーツ
ステンレススティール
アリゲーターストラップ
434,500円(税込)



© Cartier

タンク マスト
29.5×22mm
クォーツ
ステンレススティール
アリゲーターストラップ
412,500円(税込)



Paul & Henriette © Cartier

カルティエにとって、時間とは？

単に計測する対象ではなく、自らに寄り添うもの。大切なのは、今、この瞬間、この場所。いわば、時間は、「今」を自分らしく、有意義に過ごすためにこそ使うものなのだ。その時の哲学を秘めて、カルティエは、1世紀以上をかけて、時間という千変万化であり、タイムレスで実態のないものを独自のスタイルのタイムピースへと昇華してきた。それは、絶えず可能性の限界、美的感覚の限界、アイデンティティの限界への挑戦となる。まさに、カルティエの腕時計は、メゾンの創造性と卓越した技の結実。身に着ける人を鼓舞し、人生のステップアップに寄り添うパートナーとして、これ以上ふさわしい存在はないだろう。

Men's Watch News Flash

ルイ・カルティエの伝説をまとう

カルティエのウォッチを語るうえで外せないのが3代目当主ルイ・カルティエだ。新時代の好きでつねにチャレンジを怠れず、メンを世界へ広げたいと、たことでも知られる人物である。その大胆な生き様は、現代を生きる男性にこそ、刺激を与えるはずだ。

2022年の新作でも、彼の伝説を語る3つのコレクションが進化を遂げた。特筆すべきは、いずれも魅力的な新カラーが登場した。ひしひしと、メンを代表する人気コレクション「タンク」の系譜を受け継ぐ「タンク ルイ カルティエ」。1917年に誕生して以来愛されている、2本の並行する縦枠の「タンク」ギョ

ラーケースのデザインを、1920年に再解釈したものだ。縦枠を細くして角を丸くし、ケースを伸ばしたウォッチが特徴で、実際にルイ・カルティエが愛用していたことも有名である。今年注目したいのは、漆黒の文字盤。同じ漆黒の文字盤は、「タンク マスト」の新作にもお目見えした。昨年「タンク ルイ カルティエ」を踏襲し、刷新されたシンプルでデザインにブラックカラーがよく映える。

もうひとつ、ルイ・カルティエと所縁の深いコレクションといえは「サントス」をおいてほかならない。彼の友人であったブラジル人の大富豪で、空を飛ぶことが何よりも好きだった飛行家

アルベルト・サントス・デュモンのために飛行船を操縦する際に時刻を確認できるように生み出された「サントス」が体化した時計の存在である。1904年に世に送り出されたこの時計は、「世界初の男性用腕時計」として歴史の名を刻むことになった。今年のモデルは、精悍さと知性を兼ね備える「ブルー」の配色が新鮮だ。さらに、「ミニユアーク」のケルトン・モデルがシックなグレーやグリーンの色調で登場したのも見逃せない。

進取の気性に富んだルイ・カルティエの精神が息づく新作ウォッチたち。時代を超えて、真価を認められるためには、現代性を取り入れ、挑戦しながらも、本質を失わないことが重要であることを教えてくれる。



Matthieu Lavanchy © Cartier

SANTOS DE CARTIER

マニュファクチュールで進化する「サントス ドゥ カルティエ」

「ビジネスシーン」には、各詞以上に持ち主のアイデンティティを物語る存在となる腕時計。「サントス」がこの世に誕生していなければ、時計はもつと時間を計測する利便性が追求されていくかもしれない。現代のファッションも大きく変わっていったことだろう。そういう意味で、「サントス」の功績は非常に大きい。それだけ重要なコレクションは、2000年にスイスのラシャイェンで、2001年に工場を構えてから、徐々に進化を遂げ、自社生産の「マニユアクトゥール」にての姿勢を表明してきた。2009年には、自社製ムーブメントを発表し、2010年からは外装部分のケースやブレスレットも自社で手がけていく。その結果として、自分で簡単にブレスレットを交換できる「アリゲーターストラップ」を交換できる「クワイックスイッチ」ブレスレットの長さを調節できる「スマートリンク」システムを搭載することが可能になったのだ。新作に見られる独特のブルー文字盤や、スケルトンモデルの登場も、「マニユアクトゥール」ならではの卓越した技があつてこそ実現できるものなのだ。



Iris Velghe © Cartier



© Cartier

サントス ドゥ カルティエ
47.5×39.8mm
手巻き (Cal. 9611 MC)
ステンレススティール
ステンレススティールブレスレット、
アリゲーターストラップ各1本
4,224,000円(税込)



© Cartier

サントス ドゥ カルティエ
47.5×39.8mm
手巻き (Cal. 9611 MC)
ステンレススティール
ステンレススティールブレスレット、
アリゲーターストラップ各1本
4,224,000円(税込)



Vincent Wulverryck © Cartier

サントス ドゥ カルティエ
47.5×39.8mm
自動巻き (Cal. 1847 MC)
ステンレススティール
ステンレススティールブレスレット、
カーフスキンストラップ各1本
998,800円(税込)

Ladies Watch News Flash

ハイジュエラーの矜持が息づく ジュエリーウォッチ

PANTHÈRE DE CARTIER

大胆にしなやかに生きる現代女性のアイコン 「パンテール ドゥ カルティエ」

世界中のロイヤルファミリーや各界のセレブリティを虜にしたカルティエのクリエイション。誇り高きハイジュエラーとして、芸術的なジュエリーウォッチの数々が歴史を彩ってきたことも忘れてはならない。なかでも、1914年に初めて時計として誕生した「パンテール」のデザインは造形の美しさに止まらず、自由を愛し、時代の先をゆく女性たちの代名詞となっていた。最初に「パンテール」の異名を持ち、パリジェンヌの憧れを集めたのは、男性中心の社会で、メソンのクリエイティブ・ディレクターとして活躍したジャンヌトウーサン。その後、抜群のセンスと大胆な行動で魅了したウィンザー侯爵夫人や、パリのファッションアイコンとして注目を集めたディジー・フェロウらが名を連ねる。強い眼差しに、しなやか



Iris Velghe © Cartier

な四肢、野性味あふれるスタイルは、パンテールを体現する多面的な魅力を持つ女性たちのように具体的な造形から、幾何学、抽象まで実に幅広い表現が用いられてきたことも特徴である。

2023年は、宝石のカラーを思わせるプラム、ゴールド、ナイトブルー、ブラックの4つのカラー文字盤の優美なモデルが登場した。見る角度によって、表情が異なる輝きを楽しめるのも、幾つもの顔を持つパンテールウーマンを思わせる。また、インデックスがない文字盤は、時間という概念から解放されて、自由を謳歌する女性を象徴するようだ。一方で、「パンテール ドゥ カルティエ」の魅力が、小ぶりでエレガント

なデザインなのに視認性が高いところと称賛する女性も多く、定番モデルも人気を博している。身に着ける人のライフスタイルに合ったスタイルを選べるのも、「パンテール」がどんな時代でも愛されてきた理由のひとつ。そして、何より、「パンテール ドゥ カルティエ」は、どんな女性の腕元にも似合う。それは、このタイムピースを身に着ければ、女性の中に眠る、パンテールを表す大胆さ、自分らしさ、自信、魅きつける力、優美、しなやかさのいずれかのキーワードが共鳴するからだ。腕元に「パンテール」の輝きがあれば、きっとあなたに寄り添い、豊かな時間が過ぎるように導いてくれるはずだ。



© Cartier

パンテール ドゥ カルティエ
30×22mm クォーツ
ステンレススティール
ステンレススティールプレスレット
594,000円(税込)



© Cartier

パンテール ドゥ カルティエ
30×22mm クォーツ
ステンレススティール、ダイヤモンド
ステンレススティールプレスレット
1,161,600円(税込)



Antoine Pivdori © Cartier

パンテール ドゥ カルティエ
25×20mm クォーツ
イエローゴールド、ダイヤモンド
イエローゴールドプレスレット
日本限定
3,986,400円(税込)

掲載した商品の価格は令和4年11月29日時点のものです。価格や仕様は予告なしに変わることがございます。

Biz Life Style Pick up >>>

山形屋1号館1階 山形屋 ウォッチ ギャラリーのカルティエ ウォッチブティックがリニューアルオープン



創業272年、地元を愛され、株式会社設立105年を迎えた「山形屋」。今年9月中旬に1号館1階ウォッチギャラリーのカルティエウォッチブティックがリニューアルオープン。県内で唯一のカルティエウォッチブティックで、リニューアルにより最新のブランドコンセプトを導入し、さらに上質感を増した。

優雅なシャンデリアが彩る大人の空間の中、新着コレクションを見比べる至福の時間。実際に手に取ってこそ理解できるカルティエの美、ぜひご堪能を。

取り扱いブランド

カルティエ、オメガ、ショパール、グランドセイコー、クレドール ほか



1号館1階
山形屋 ウォッチ ギャラリー
直通電話 (099) 227-6270

<https://www.yamakataya.co.jp/cartier/>